

会 議 録

会 議 名	令和3年度 第2回知立市総合公共交通会議
日 時	令和3年12月23日(木) 午前10時00分～11時40分
場 所	知立市中央公民館 1階 大会議室
次 第	<p>1. 開会</p> <p>2. あいさつ</p> <p>3 報告事項</p> <p>(1) ミニバスの利用状況について 【資料 1-1～1-5】</p> <p>(2) 夏休み期間中の中学生の利用状況について 【資料 2】</p> <p>(3) 乗車料金種別調査について 【資料 3】</p> <p>(4) 地域公共交通確保維持事業（地域間幹線系統補助）の事業評価について 【資料 4-1～4-2】</p> <p>(5) ミニバス 車体広告の募集について 【資料 5】</p> <p>5. 協議事項</p> <p>(1) 高岡ふれあいバスのダイヤ改正等について 【資料 6】</p> <p>6. その他</p> <p>7. 閉会</p>
資 料	<p>・次第、委員名簿、座席表</p> <p>・会議説明資料（資料 1-1～1-5、2、3、4-1～4-2、5、6、高岡ふれあいバス時刻表）</p> <p>・当日配布資料（資料6、ミニバスガイド、チラシ4枚）</p>
出 席 者	<p>【委 員】 山崎委員 ((公財) 豊田都市交通研究所主幹研究員)</p> <p>小林《徳田》委員 ((公社) 愛知県バス協会専務理事)</p> <p>潮田委員 (愛知県タクシー協会刈谷碧南支部長)</p> <p>大野《平塚》委員 (名鉄バス株式会社運行部運行課長)</p> <p>永井委員 (愛知県交通運輸産業労働組合協議会幹事)</p> <p>磯貝委員 (知立市身体障害者福祉協議会副会長)</p> <p>堀 委員 (知立老人クラブ連合会会長)</p> <p>岩堀委員 (知立市区長会(八橋町区長))</p> <p>岩城委員 (知立市商工会女性部長)</p> <p>岡田委員 (公募市民)</p> <p>山田委員 (公募市民)</p> <p>山内委員 (中部運輸局愛知運輸支局首席運輸企画専門官)</p> <p>澤木《八木》委員 (愛知県都市・交通局交通対策課担当課長)</p> <p>伊藤委員 (愛知県安城警察署交通課長)</p> <p>鈴木委員 (愛知県知立建設事務所維持管理課長)</p> <p>高木委員 (知立市都市整備部長)</p> <p>近藤委員 (知立市土木課長)</p>
欠 席 者	中嶋委員 (名古屋鉄道株式会社東部支配人室営業総務課長)

内容（概要）

1. 開会

（司 会）

定刻前ではございますが、ただいまより令和3年度第2回知立市総合公共交通会議を開催いたします。本日はお忙しい中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。本日の会議出席者は17名で、全委員18名の過半数を超えておりますので会議は成立していることを報告いたします。

それでは、会議に入ります前に資料の確認をお願いいたします。本日お手元に配布させていただきました「会議次第」、「委員名簿」と「座席表」の両面のもの、「ミニバスガイド」、本日差替えの資料6、ホッチキス止めしてあります3枚のチラシ、マイルートと書かれておりますチラシ1枚、事前にお送りしました「令和3年度第2回知立市総合公共交通会議資料」、「高岡ふれあいバス 時刻表と路線のご案内」です。お手元にはございますか。

本日は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から極力時間短縮に努めて進行させていただきますのでご了承いただきますようお願いいたします。

それでは、はじめに水谷副市長よりご挨拶申し上げます。

2. あいさつ

（副市長）

皆さんおはようございます。知立市副市長の水谷と申します。今年の3月に就任いたしました。今後ともよろしく願いいたします。

本日は大変お忙しい中、本会議にご出席を賜りまして誠にありがとうございます。また、日頃は委員の皆様におかれましては、それぞれの立場で知立市行政に対し、ご理解・ご協力を賜りますこと深く感謝を申し上げます。本来であれば市長がご挨拶を申し上げるところではございますが、本日は東京に出張しておりますので、私よりひと言ご挨拶を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大期におきましては、「自粛」を余儀なくされまして、多くの方が外出や移動を控えておられました。そのような中で鉄道、バス、タクシー等の事業者の皆様方におかれましては、エッセンシャルサービスとして感染リスクを抱えながら事業を継続し、消毒や換気等による予防策を講じて地域公共交通を維持していただきまして、心より感謝申し上げます。愛知県におきましては、9月30日をもって4度目の緊急事態宣言が解除となり、現在感染者数は少し落ち着きをみせておりますが、新たな変異ウイルス「オミクロン株」の脅威もありまして楽観できない状況が続いております。行政といたしまして、今後も気を引き締めて各施策にあたっていききたいと考えておりますので、各事業者の皆様におかれましては引き続きご協力をお願いいたします。

さて、地域公共交通のひとつである当市の「ミニバス」につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により利用者の減少がみられましたが、10月以降は回復傾向にあります。公共交通は利用者の視点に立ちますと、高齢者や運転免許証の返納者など、特に交通弱者といわれる方にとっては非常に重要性が増してくる一方で、事業者からの視点に立ちますと、運転手不足をはじめ、新型コロナウイルス

(副市長) ス感染症による利用者の大幅な減少、そして新たな生活様式に対応した運行方法の実施など、取り巻く環境は非常に厳しいものであると認識をしております。委員の皆様には多くの市民、事業所にとって、優れた交通ネットワークが実現できますよう、本日の会議におきまして忌憚のないご意見をお願いいたしますとともに、引き続き当市の交通行政にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。今日はよろしく願いいたします。

(司 会) ここで副市長は所用のため退出させていただきます。

本来ですと、ここで委員の皆様のご紹介をさせていただくところですが、時間の都合もありますので、9月より新たに委員になられた方をご紹介させていただきます。本日は都合により欠席されてみえますが、名鉄バス株式会社の大野淳様が吉岡様が変わられ委員となりましたのでご報告をさせていただきます。ほかの委員の皆様につきましては、配布しました名簿及び座席表にて代えさせていただきますのでご了承ください。

本日は、報告事項5件、協議事項1件につきましてご審議いただきます。市民の皆様にとってより便利なミニバス運行ができるよう、さらに協議を重ねていきたいと考えておりますので、皆様方にはご協力いただきますようお願いいたします。それではここからの議事進行は、議長の山崎会長に交代させていただきます。山崎会長、よろしく願いいたします。

3.報告事項

(議 長) おはようございます。本会の会長を仰せつかっております、公益財団法人 豊田都市交通研究所の山崎でございます。最近はめっきり寒くなってきましたが、今日は日差しもありすごしやすい日でございます。この会議は知立の公共交通会議ということで、ミニバスだけではなく知立市の公共交通全般を議論する場となっております。広域的な幹線である鉄道を見てみると、知立市は愛知県を中心部、軸となるような場所にあります。色々な方が知立を出入りしている状況の中で、知立市内に用事がある方々、あるいは知立の住民の方がより市内を便利に移動できるようにミニバスをよりよいものにしていけたらと思っております。副市長のお話にもありましたが、ミニバスもコロナでかなりダメージを受けていますが、少しずつ回復してきてもどの公共交通も8割程度までしか戻らない状況です。しかし、一番減っていた時期でも4割の方々は公共交通を使い続けていたということで、こういった方々のために公共交通を残していく必要があると思っております。今日は報告事項が何点かありますので、活発なご意見をよろしく願いいたします。それでは、次第に沿いまして、3. 報告事項(1)「ミニバス利用状況について」を事務局より説明をお願いします。

(事務局) 【資料1-1～1-5に基づき説明】

(議長) ただいまの説明について、ご意見・ご質問等はございませんか。

(委員) 資料1-4の各コースの利用者数の比較で、令和元年10月はコロナ前という認識でいいと思いますが、令和2年10月と令和3年10月はコロナ禍の状況だと思います。令和元年と比較すると5コースの昼の時間帯の利用が落ち込んでいます。このコースはどこを通るルートで、利用者の属性はわかりますか。

(事務局) 5コースは知立団地を回って、アピタから知立駅に向かうルートとなります。知立団地は高齢者の方が多い地区となり、ミニバスを利用される方の年齢層も高いため、コロナ禍で外出を控えられた方が多かったと推測しております。

(委員) 令和元年度からの比較と、各路線で主要な施設での利用実態を分析していただいていると感じています。バスロケについて、団地の高齢者の方や今コロナ禍で利用していただいているのは外出が必要ということで利用されていると思います。どうしてもバスが必要な方が、広報以外の形でバスロケの利用方法を知ることができるよう工夫ができないか検討していただければと思います。

(事務局) 広報への掲載をさせていただきましたが、今後色々な形で周知ができればと考えております。

(議長) 高齢者はデジタル製品に対する抵抗があって、なかなかバスロケは使いにくいかとは思いますが、最近では70代の方でもスマホを使いこなしていらっしゃる方もみえます。広報によるお知らせだけではなく機会があれば周知をしていただきたいと思います。

(委員) 1コースの合計値が違います。私の印象では1コースは高齢者の方の利用が多かった印象でしたが、かなり特定の方が日常的にアクセスされると、母数が少ないので利用状況に差が出ると思います。

(事務局) バスロケを利用される方の細かな属性データが集計上出てこないもので、詳しいことはわかりませんが、1コースは昔からの住宅地を通りますので高齢の方の利用が多いです。合計値は誤りがあるので修正いたします。

(議長) 委員の方のお話にもあったように、使って便利だと思った方は何度も利用されていると思います。そういった方々が口コミで広めていただけるといいと思います。
続きまして(2)「夏休み期間中の中学生の利用状況について」を事務局より説明をお願いします。

(事務局) 【資料2に基づき説明】

(議長) ただいまの説明について、ご意見・ご質問等はございませんか。

(委員) 小学生に対する取り組みを実施する自治体は何カ所かありますが、自分で移動ができる中学生を対象にしているため、とてもいい取組であると思います。図書館など子供の居場所を地元で作っていただいで、そういった広がりがあればと思います。1コースの中学生の利用が少ない理由はわかりますか。

(事務局) 1コースは公共施設であるウォーターパレスや図書館からは遠い住宅地を歩いてアピタや駅に向かうルートになります。そのため中学生は自転車を利用するほうが多い地区となっています。中学生になると子ども同士で遠出をする世代になります。そういう世代に公共交通を使って移動してもらうことを覚えてもらうこと、ミニバスがどこを・何時頃に走っているかを知ってもらう事業として、これからも予算を確保して継続していきたいと考えております。

(委員) 今年コロナの関係で休館や入場制限、開館時間の短縮を行い、ほかの市町では図書館も入れないところがあったようです。交通担当だけで考えるのではなく、他の部署と連携した取り組みを行っていただけるといいと思います。

(事務局) 公共施設には乗り入れができるように調整をさせていただいておりますので、引き続き情報共有をさせていただきます。

(議長) 例年コロナ前はプールに行く子たちが多かったのですが、令和3年度はその利用者が回復しませんでした。利用制限もあるし、プールに行くのは怖いといったイメージもあったかもしれません。今回2コースが、今までにない利用者増となっており、その目的地はアピタと図書館であったとのことでした。事務局の取組みとして、中学校で配布したモデルコースに2コースを使ったものを掲載し、その効果があったものだと思います。モデルコースの紹介をすると使いやすいものになると思います。

(委員) モデルコースを作るなど、ミニバスを使うきっかけはとても大事だと思います。知立市の観光案内所では、観光客がみえたときにどこに何があるのか、ミニバスはどのようなコースになっているか聞かれるようです。モデルコースをいくつか置いておくと利用しやすいのではないかと思います。そこから知立にいらっしゃる方を増やしていければと思います。

(事務局) 現在モデルコースを作りましたが、ホームページ上に公開しているのみとなっています。確かに観光案内所などの施設に、プリントアウトしたものをお持ちして、見ていただける場を今後も増やしていきたいと思ひます。

- (議 長) 知立は弘法さんにもたくさんの方が来られますが、他にも神社やお寺があります。御朱印を集める方も多く、御朱印めぐりマップを作っているところもあります。ミニバスでも同じような動きができればいいと思います。
- (事務局) 経済課等と連携を取りながら作成をしております。
- (議 長) 中学生に限らず年間を通じたコースを作っていただければと思います。続きまして、報告事項(3)「乗車料金種別調査について」を事務局より説明をお願いします。
- (事務局) **【資料3に基づき説明】**
- (議 長) 右側のグラフで、上のグラフでは割合が小さくなってしまっているものが、下のグラフに拡大して掲載されています。小学生以下の利用がすごく増えているように見えますが、目盛りとしては小さいものの中ということになります。それにしても今までと比べて増えているかとは思いますが、ただいまの説明について、ご意見・ご質問等はございませんか。
- (委 員) 定期券は運転手から直接買う方法のみであると思いますが、信号待ちなどタイミングを図るのが難しいというご高齢の利用者もみえます。市役所などで定期券を販売するなどの気軽に乗れるような対応はできないか、購入方法について何かいい知恵があればと思います。
- (議 長) 運転手は安全に注力することが一番ですので、販売も行おうとなると大変な状況ではあると思います。そのあたりはいかがでしょうか。
- (委 員) ご指摘の通りでございます。車内でお買い求めいただくのですが、常に乗務員からお客様には、バス停車中にお願ひしますとお声がけをさせていただいております。定期券の購入にかかわらず、バス停で降車する際にもバスが完全に停まってからお席をお立ちくださいとご案内させていただいております。特に高齢のお客様は、急いで降りたいとか、運転手や他のお客様の迷惑になるので早く買いたいといったお気持ちは重々わかるのですが、安全を第一ということで停車中にお願ひしております。販売の窓口の拡大ですが、他の自治体様ですと市役所の窓口や観光案内所等、地域の公民館でも販売されているところもあります。お金を扱うということから今後調整をしていただければと思います。
- (委 員) お互いの合意というのが運転手の安心・安全にもつながるので、市のほうで安心利用につなげるような周知をしていただければと思います。例えば車内に目で見える形で掲示をしていただければいいと思います。

(事務局) 定期券の購入ですが、お金を取り扱うのですべての施設で取り扱うのはなかなか難しいものがあります。市役所の中での販売は他部署と調整して検討してまいります。購入方法等については、最近はできていませんが出前講座などができる機会があれば啓発していきたいと思えます。

(議長) 車内で購入するタイミング、他の場所で購入することはできないかということで、車内ポスターをつくってもいいかもしれません。最近コンビニで住民票等が発行できる仕組みがありますが、その仕組みを利用することはできないのでしょうか。

(事務局) 担当部署に確認します。現在、定期券購入時に購入した日付印を押して販売しています。印刷方法なども検討する必要があります。

(議長) 豊田市は70歳以上の高齢者に定額パスの販売を始めましたが、セブンイレブンと協力をしています。セブンイレブンでも発券ができるようになっていきます。他の自治体でやっている取組を参考に考えていただければと思えます。また、豊田市の地域バスの回数券は受託事業者が様々な方法で販売しています。

(委員) 以前ミニバスを担当していた時の記憶ですと、乗った瞬間に声をかけていただいて運転手が時間を取れるときに定期券を作っておき、降りるときにお金を払っていただくという、常連さんならではのやり方もございました。しかし初回の方は戸惑うと思えます。回数券は色々なところでも販売しやすいのですが、定期券は事務局の話にもあったように、日付を入れるのでいろいろなリスクもあります。そういったことから車内で買えるのは非常に便利なシステムであるので、ブラッシュアップされるほうが販売場所を広げるよりはよいと思えます。ただ、車内で運転手から購入したくないという人も一定数はいるようなので、どう折り合うかというところが課題であると思えます。

(議長) 実態に即したご意見をいただきました。車内での購入をなるべく便利にさせていただければと思えます。
続きまして、報告事項(4)「地域公共交通確保維持事業(地域間幹線系統補助)の事業評価について」を事務局より説明をお願いします。

(事務局) **【資料4-1～4-2に基づき説明】**

(議長) 今ご説明のあった3つのコースは市を跨いだ運行をしているため、地域間の移動に寄与する交通機関であるという位置づけとなりますので、国庫補助をいただいておりますというものになります。補助金をいただくからにはきちんと評価をして報告しなければならないということで、愛知県がとりまとめをして国に提出することになるかと思えますが、評価結果は県に提出済みですか。

- (事務局) 提出済みです。
- (議長) 愛知県から何かご意見はございますか。
- (委員) 今ご説明があったとおり、事業評価についてとりまとめを行っており、全部で60ほどあるものを取りまとめて国に提出するという流れになっています。各市町と調整をさせていただきながら実施しております。
- (議長) ただいまの説明について、ご意見・ご質問等はありませんか。
- (委員) 4コースの目標値が元年度のものになっていません。
- (事務局) 数値を修正して再提出いたします。
- (議長) 地域間の幹線ということで、関連する市町村からも意見をいただくというものになります。他に質問等がなければ、報告事項(5)「ミニバス 車体広告について」を事務局より説明をお願いします。
- (事務局) **【資料5に基づき説明】**
- (議長) ただいまの説明について、ご意見・ご質問等はありませんか。
- (委員) 新たな財源確保は重要な部分で、他の自治体様においても実施をされております。車体への広告でマグネットを予定されておりますが、短期間の契約で張替えが頻繁にあるのであればマグネットでも問題ないかと思いますが、1年程度長く掲載されるのであればラッピングシートを使用したほうが良いです。走行中に落下する可能性があるため、安全面を考慮するのであれば、長い期間であればステッカーであったほうがよいかと思います。ガラスに関しては運転手の視界の妨げにはならないので問題ないと思います。
- (事務局) 車体のステッカーですが、現在ちりゅっぴ等のイラストが入っており、ステッカーをはがす際にその復元の費用も考慮すると応募も入りにくいのではと考えました。また、現在50周年のマグネットを年間通じて貼っており、落下することはありませんでした。
- (議長) 1年間契約される方は窓のほうに掲載してもらえるといいですね。マグネットが落下して人にあたることも考慮してください。
- (委員) マグネットの素材によって、はがした際に塗装がはがれる場合もあります。広告代理店との調整をお願いします。

- (委員) 横幅2mを超えるマグネットは重みで落ちてしまいます。イエローコースの後方下側部分は毎日点検で開け閉めする部分になります。関係者で詰めていただけるといいと思います。
- (事務局) 車体部分については、基本的には金属でできている部分を確認して決定しております。落下時における対応については道路管理者とも調整しながらこの事業を進めていきたいと思ひます。
- (委員) 申請期間が最長1年間ということで、1か月の方もあれば1年の方もみえます。運行事業者サイドからすると、安全ということが最も重要になると思ひます。短い期間はマグネットにするなど細かいルールを事業者と調整し、落下した際に他の車にあたることなど想定をしていただけるといいと思ひます。
- (事務局) 他市でこのような事業を行っている市町と情報共有を行って事業を進めていきたいと思ひます。
- (議長) 大変貴重な意見が出ました。安全が第一ですので十分な調整をして進めていただきたいと思ひます。報告事項は以上となりますが、協議事項に入る前に市民委員の方から一言ずつお願いいたします。
- (委員) 知立団地でバスを待っていた際に、風が強かったので木陰で待っていたらバスが気づかずに通過してしまい、お二人の高齢の方が歩いて牛田駅まで行かれたそうです。バス停のそばまで来た時には徐行をしていただくことは可能でしょうか。障害がある方、高齢者の場合はさっと動くことはできないのでお願いしたいとのことでした。その件とは別に、2歳のお孫さんを抱っこして乗車された方からは、ベビーカーを載せるときにとってもやさしく対応していただけたのでありがたかったとお話がありました。
- (議長) 実際に利用者の声をお聞かせいただきありがとうございました。一番いいのは風よけがバス停にあるということです。利用者が見にくいバス停もあるので、見落としてしまうこともあるし、各バス停で徐行するのは中々難しいと思ひます。一度見にくいバス停をチェックしていただくのもいいかもしれません。
- (事務局) 全てのバス停に風よけをつけることは難しいので、木陰があるようなバス停をチェックして運行事業者と情報共有しながら運行していきたいと思ひます。
- (議長) 具体的にはどのバス停かわかりますか。
- (委員) 昭和3丁目です。谷田公園前も吹きっさらし、バスもよく遅れるという話を聞きました。

(委員) そのような時にバスロケが便利であるということを知っていただければいいと思います。バス停付近での徐行については余裕をもったダイヤになっていないとすぐに対応できるわけではないため、利用者とバス運行者で出来ることは何か知恵を出し合って折り合っていただければいいと思います。

(議長) 確かにそうですね。ありがとうございます。

(委員) これからの課題のところにモデルコースの作成とありました。今後自主返納者も多くなってきますが、足腰が元気な高齢者も多くなってきます。モデルコースを豊田や刈谷への乗り継ぎもあるものを掲載してもらいたいです。我々はこういう会議に出席しているからいいですが、インターネットを利用する高齢者は少ないので、広報ちりゅうに折込みでいれてもらえると利用者が増えるのではないかと、バスの中でも宣伝できればいいと思いました。

(事務局) 確かに現在のモデルコースで他市に行っているものは少ないです。周知の方法についても、広報に折込みができればと思います。

(議長) 広域幹線としての補助金もいただいているので、知立の中だけではなく刈谷のハイウェイオアシスに行くコースなどいろいろ考えていただければと思います。

(委員) 制約のある中で苦労されているのがわかります。前回と違い今回はミニバスを中心に検討するということでした。私はバスを1、2回しか利用したことはありませんが、皆さんが利用しやすいような改善を望んでいます。

(議長) ありがとうございます。

(委員) バスロケはいいシステムだと思うので、多くの方が利用していただければいいと思いました。自主返納者の無料乗車券は一度返納するとずっともらえるということで良かったでしょうか。乗車券というのであれば、返納しなければいけない年齢の人が返納しやすくなるのかなと思いました。モデルコースがあると利用者が増えるという思う一方で、知立市以外のところまでモデルコースで回ろうと思うと、本数が少ないと感じました。

(事務局) 運転免許返納者の無料乗車券は、安心安全課が手続きの窓口となりますので申請をしていただくこととなります。ミニバスは、75歳以上の方は無料となりますので、65歳で運転免許を返納してから75歳までは2年に1度の更新手続きをしていただくこととなります。75歳以上となりますと、長寿介護課から保険証を入れる無料のパスケースが保険証とともに郵送されてきますので、そちらをご利用いただくこととなります。

- (議 長) 知立の高齢者に対する料金施策はややこしいので、モデルコースと一緒に分かりやすく記載をすると思います。
- (事務局) 分かりやすくなるようなものを作成してみます。
- (議 長) よろしく願いいたします。
- (委 員) 普段はほとんど車を利用してバスを利用することはないのですが、年齢的にはそろそろ免許返納の時期がきているので、その時にバスのルートがよくわかると思います。今のところはバス停を見て調べることしかできないので、もう少しわかるように説明があるとありがたいです。
- (事務局) 現在はバス停に、バス停名で表示されたルートを掲示しています。この施設に行くにはこのルートに乗るといいなど、視覚的にわかりやすい案内ができるようにしたいと思います。
- (議 長) 車の免許を持ってみえる方に、今のうちからバスはこういうものだということを情報提供することも大事であると思います。
では、協議事項に入ります。「高岡ふれあいバスのダイヤ改正等について」ですが、資料6が差替えになりましたのでそちらの説明をお願いします。

4. 協議事項

- (事務局) **【資料6に基づき説明】**
- (議 長) 豊田市が主体となって運行している「高岡ふれあいバス」ですが、知立駅まで来ているので、知立市での協議が必要となります。高岡にお住まいの方が知立駅に出るために利用されるのであって、知立市民の方で豊田方面に利用される方がいるのでしょうか。
- (委 員) ハイウェイオアシスに行くのに利用されているとききます。
- (議 長) モデルコースでもお話がありましたが、ハイウェイオアシスに行く目的として利用されている方がみえるのですね。そのあたりの利用者も把握されると思います。
- (事務局) モデルコースを作る際に参考にさせていただきたいと思います。
- (議 長) 大幅にダイヤが変更となっているようであれば、市民の方にも周知が必要であると思います。豊田市のバスであるから豊田市が行うのではなく、知立市としても市民にお伝えしていったほうが良いと思います。
- (事務局) 周知も行ってまいりたいと思います。

(議 長) 豊田市の公共交通会議は21日に開催され、協議のうえ承認されたということ
でよろしいでしょうか。

(事務局) その通りです。

(議 長) ではこちらの協議事項についてご審議いただきたいと思います。承認して
いただける方は挙手をお願いいたします。

(委 員) (全員挙手)

(議 長) ありがとうございます。全会一致でご承認いただきました。豊田市さんにも
その旨お伝えいただければと思います。
それでは議題は以上となりますので、進行を事務局にお返しします。

(司 会) ありがとうございます。5. その他にはいります。

5. その他

(司 会) お手元に最初に配布させていただいたチラシのご紹介を運輸支局よりお願い
いたします。

(委 員) 配布したチラシをご覧ください。新型コロナウイルスの影響で外出機会が減
っているということで、公共交通の利用者が減少しています。そういった状況
の中でも公共交通自体は安心してご利用いただけますという周知で、できるこ
とはないかということから取り急ぎチラシを作成いたしました。会議中にもバス
ロケの周知や乗り方教室の話もできてきました。そういった場でもチラシを配布
していただいて、安心してご利用いただけることを周知できるとありがたいで
す。「バスのシカクにご用心」については、バスの周囲には死角がありますので
事故なく利用していただけるようにということで配布をさせていただいており
ます。その他にも車内の転倒事故も度々起きています。停車前に立ってしまっ
て、バスが止まったゆるい衝撃でも転倒してしまいますので、注意喚起として
作成いたしました。市の取組の中で説明等が必要であれば伺いますのでよろし
くお願いいたします。

(司 会) 引き続き愛知県よりチラシの説明をお願いいたします。

(委 員) 本日配布したマイルートですが、県の取組として宣伝をさせていただきます。
愛知県は来年のジブリパークの開業に向けて、周辺道路や公共交通の混雑緩
和、移動の利便性向上のための取組を実施しております。12月から1月末に
かけて、モリコロパークやその周辺エリアを中心に、このスマホアプリのマ
イルートを使った実証実験を行っております。マイルートは乗換の検索アプリに
なり、他にもヤフーや Google などの乗換アプリがありますが、このマイルート

- (委 員) は車と公共交通の比較ができるということと、県内の路線バスやコミュニティバスに対応していること、カーシェアやシェアサイクルにも対応しているということが特徴です。実証実験の期間中は、ジブリパークの開業を見据えた特別な機能としてリニモの駅や道路の混雑状況がリアルタイムで確認ができ、パークアンドライドの検索もできます。チラシに掲載してある12月4日の名古屋グランパス線のパークアンドライドはすでに終了していますが、1月9日の豊田スタジアムのラグビーの試合も対象としたパークアンドライドにも対応します。ミニバスもマイルートで検索することができます。アプリの会員登録をすればすぐに利用することができるので、マイルートを活用していただければと思います。
- (司 会) ありがとうございます。最後に事務局より1件ご報告がございます。担当より説明させていただきます。
- (事務局) 以前の交通会議の中でもご報告をさせていただいておりましたが、Google マップへのミニバス情報の反映が完了いたしました。今までは知立駅から文化会館まで行くルートをGoogle マップで検索すると、徒歩でのルート案内となっていました。ミニバスの情報が表示されるようになりました。駅から離れた場所でもミニバスを利用する検索ができるようになりましたので、検索の際にご利用いただければと思います。
- (司 会) ただいまの説明について、ご意見・ご質問等があればお聞きします。それでは、本日の総合公共交通会議はこれで終了とさせていただきます。本日は、お忙しい中ありがとうございました。

6. 閉会